

愛媛大学地域創成研究センター活動報告－平成25年度（2013年4月～2014年3月）－

2013年度の地域創成研究センター教員は、2012年度と全く同一の下記8名である。すなわち、センター長・寺谷亮司教授、副センター長・和田寿博教授、佐藤亮子准教授、岸啓子教授（教育学部）、川岡勉教授（教育学部）、松野尾裕教授（教育学部）、石塚真子准教授（教育学部）、野崎賢也准教授（法文学部）であり、前3者が当センター専任教員である。2013年度は、例年とほぼ同様、2部門において、下記活動を実施した。

1. 学術文化創造部門

各センター教員は、地域に根ざした研究や教育効果を意識した学生との協同調査を実施している。前者には、「愛媛・西日本の戦争体験記録プロジェクト」などがある。後者の成果の一部は本年度に刊行した地域創成研究年報第9号にも掲載されている。当センターの機関誌である同年報は、昨年度より電子ジャーナル化した。今号は投稿論文数が8本と前号と比べて倍増した。

共同研究の推進・募集と支援に関しては、「えひめ311」、「愛媛グローバルネットワーク」などのNPOとの交流活動を実施し、また「四国遍路と世界の巡礼研究会」などの講演会を支援・後援した。

地域の文化・芸術事業の推進としては、独自の幻灯会方式によるプロムナード・コンサート（「音楽とまち育ての響きあうひととき」、2月15日）を愛媛県美術館にて実施した。

2. 地域政策部門

同部門におけるシンクタンク機能の推進に関しては、松山市との「道後温泉活性化ワークショップ開催・運營業務」、「松山市中心市街地活性化事業」、「宇和島市津島町御槇地区集落コミュニティ支援事業」、「上島町弓削島の風土産業研究」、「上島町魚島地域元気アッププロジェクト」を継続・実施した。新規では、「道後温泉活性化懇談会」、「松山市清水地区まちづくり協議会準備会」、「松山市中小企業振興基本条例検討委員会」、「東温市中小企業振興基本条例円卓会議」、「西条市市民憲章等制定事業」、「四国中央市国際交流ビジョン策定委員会」などに参画した。

地域貢献事業では、「mit まちなか大学」を開催し、市民に向けた「知」の発信に努めた。今年度は、第1回「松山盛り場考－大街道の過去・現在・未来－」、第2回「地方都市の国際ビジョンを考える」、第3回「日本酒とスペイン料理のマリアージュ（相性）」を内容とする講演会を実施した。

例年同様、松山市との共同事業「地域リーダー養成セミナー」（11回シリーズ）では、33名の修了生を輩出させ、地域人材の養成に貢献した。その他、「社会連携推進機構公開講演会」における当センター取り組み活動の報告、「あいだい博2012」における当センター活動のパネル展示のほか、当センターのホームページをリニューアルするなど、センター活動のPRにも努めた。

（寺谷 亮司）